

患者さんへ

## 臨床研究に関する情報

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、病理診断後、当院に保管されている検体を用いて行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和3年3月23日）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] GeoMX を用いた IgA 腎症の臨床病理学的解析

[研究代表者名・所属] 市立札幌病院 病理診断科 辻 隆裕

### [研究の背景と目的]

IgA 腎症は、腎臓の糸球体に、IgA と呼ばれる免疫物質が異常にたくさん蓄積して起こります。日本の慢性糸球体腎炎の患者さんにおいて、成人の間では約 30%、子供の間では約 20% の人がこの病気を持っています。この病気の原因については、特定の種類の IgA が異常になり、それに対する免疫複合体が関与していると考えられています。しかし、詳細な原因はまだ完全にはわかっていません。この病気をよりよく理解し、適切な検査方法を開発するために、糸球体に関連する遺伝子の研究を行います。

この研究では、IgA 腎症と他の腎炎とを比較して、違いを明らかにしようとしています。具体的には、IgA 腎症と他の腎炎を持つ人の組織を用いて、GeoMX と呼ばれる最新の特別技術を使って、特定の糸球体の領域だけを調べます。これにより、IgA 腎症に特有の遺伝子やタンパク質を発見し、この病気の診断や治療に役立つ情報を得ることを目指しています。

### [研究の方法]

#### 1. 対象となる患者さん

当院で 2010 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日の間に当院で市立札幌病院 病理診断科で病理組織学的に IgA 腎症あるいは他の腎炎と診断された患者さん

#### 2. 利用する情報

- ・患者背景：性別、年齢、合併疾患の有無
- ・血液検査の結果、画像検査の結果
- ・GeoMX で得られた糸球体病変の遺伝子転写産物の情報（ゲノム DNA の遺伝子情報の取得は行いません）

#### 3. 利用するその他の試料

- ・診断に際し使用した検体の残余（パラフィンブロック検体）

(過去に診断目的に採取され、検査 終了後から現在まで当院で保存されているもの  
を用いさせていただきます。)

- ・病理プレパラート

#### [研究実施期間]

実施許可日～2026年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

\*上記の研究に検体・情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

#### [当院の連絡窓口]

〒060-8604 札幌市中央区北 11 条西 13 丁目 1-1  
市立札幌病院 病理診断科 辻 隆裕  
電話：011-726-2211 FAX：011-726-9541